

次官

分電 3.6.0.5-3

電
信
案
外
務
省
爲 多年各方面ニ両社合併ノ希望アリシガ時
司以未右実現希望殊ニ強クナリ目下両社
ヲ審テ内密協議中
貴電ト共ニ参考ノ爲 在英大使ニ轉電アリシ

電	信	案	外	務	省
難モアリ通信業務上遺憾ノ是尠カラザリ	本邦ニ大通信社ノ現状ノ下ニ於テハ経営上ノ困	貴電第ニ五六号ニ付シ	第 一 一 七 號	電送第 10842 號	昭和八年六月九日午後 2 時 20 分發
件			宛	管 主	
聯合電通両社合併件			在 俾	情報部長	
名件録記			長岡大使	主任 第三課長	
本邦通信社千代田支社			發	昭和八年六月九日	
日通電報社			内田大臣	起草	

電信課長

03

昭和八年六月九日

1276

新通信社設立ニ關シ情報委員會特別委員會設立ノ件

新通信社ノ設立ニ關シ先般陸軍側ノ希望條件提示有之タル處
一、新通信社ハ新聞社ノ爲ニ公正適確ナル情報ノ供給ヲ目的トスル公益法人トシテ設立セラレ同社將來ノ健全ナル發達ノ爲將又對外信用ヲ維持セシムル爲ニ何處迄モ新聞同業者ノ團體トスル事絕對ニ必要ナル次第ナリ

二、然レトモ第二段ニ於テハ同社カ國策遂行ノ一機關トシテ海外ニ於ケル「ナシヨナル・ニユース・エーゼンシー」ト對抗シ其ノ使命ヲ達成スルニハ内面的ニハ常ニ政府ノ根本方針ヲ体シ常ニ國家本位ニ活動スル事必要ナルハ論ヲ俟タス、從テ之カ爲ニハ各省情報係官ノ密接ナル協調連絡ヲ計リ一定ノ主義方針ヲ同社ニ授ケテ遺憾ナキ活動ヲ期セサルヘカラス

三、就テハ現ニ每週一回開會シ居レル情報委員會ヲ活用スル要アル處目下ノ願綱ニテハ委員餘リニ多數ニ上リ委員會ノ議ヲ繼ムル事ニ

分類 3.6.1.5-3

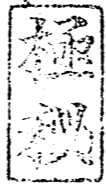
外務省

記録係
1906.6.14
同部通信課

モ困難ナル次第ナルヲ以テ先ツ各省委員中ヨリ少數ノ特別委員ヲ選定シ右特別委員間ニ議ヲ繼メ通信社ニ對シ必要ナル指導ヲ與フル事然ルヘシ

尙新通信社設立ニ關シ電通其ノ他地方新聞カ合流ヲ肯セサルノ趨勢最近看取セラレ且右反對カ軍側ノ支持ヲ受ケ居ルカ如キ風説モ有之次第ナルヲ以テ此際情報委員會内、外、陸、海三省委員ニテ特別委員ヲ選定シ協議ノ上軍部殊ニ陸軍側特別委員ヨリ右反對者ノ合流勸告ヲナシ新通信社ノ設立ヲ促進スル事ト致度シ

外務省



新通信社ニ關シ外務、陸軍、海軍三省申合

(一〇・六・二五)

新通信社ハ新聞社ノ爲ニ公正適確ナル情報ヲ供給スルヲ目的トシテ新聞通信關係者ヨリ組成セラルル公益法人トシテ設立セラルルモノナルカ同社將來ノ健全ナル發達ノ爲將又内外ニ對スル信用ヲ維持セシムル爲ニ同社設立ノ方針ヲ尊重ス

然レトモ同社カ國策遂行ノ一機關トシテ外國諸通信社ト對抗シ其ノ使命ヲ達成スルニハ常ニ政府ノ根本方針ヲ体シ國家本位ニ活動スルヲ必要トス

就テハ現在ノ情報委員會ト密接ナル連絡ヲ保ツ要アルカ同委員會ハ諸方面ニ亘リ且其ノ會合人員ハ餘リニ多數ニ上ル爲通信社指導ノ如キ機微ナル問題ヲ協議スルニ適セサル虞アリ、依テ外務、陸軍、海軍三省情報關係官ヨリ出來ル丈少數ノ特別委員會ヲ組織

外務省

0.12

シ三省關係通信問題ヲ協議シ外務省ヲ通シテ通信社ニ對シ必要ナル指導ヲ與フ

新通信社設立ニ就テハ外務、陸軍、海軍三省ハ速ニ一大通信社ヲ設立スル爲ニ有ラユル援助ヲ爲ス、現在通信社及新聞社ノ内ニハ新通信社ニ加入セサルモノアル由ナルカ此ノ際外務、陸軍、海軍三省關係官ヨリ右反對者ニ對シテ加入ヲ勸告シ以テ新通信社ノ設立ヲ促進ス

外務省

0.12

電信課長



大臣 次官

東亞 歐洲 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和10

一九七七二

暗

新京

十二月六日夜着

情

廣田外務大臣

南大使

第一〇一五號（極秘）

今般新タニ内地ニ設立セラレタル同盟通信ニ於テハ滿洲日日其ノ他
 在滿主要邦字新聞社ニ對シ「ニュース」供給ニ關スル契約締結方勸
 誘シ居ル趣ナルカ六日當地ニ會合セル滿洲弘報協會理事會ニ於テハ
 (一)右組合ニ加入セル各新聞社ハ同盟通信ニ對シ單獨ニハ何等ノ回答
 ヲ發セサルコト
 (二)從來國通ト新聞聯合及電通トノ間ニ存在セル契約ノ趣旨ニ鑑ミ國
 通ヨリ同盟通信ニ對シ對滿「ニュース」供給ニ付テハ國通ト交渉

外務省

スルヲ適當ト認ムル旨通告スルコト

(三)國通力同盟通信ニ對シテ如何ナル關係ニ立ツヘキカ及電通力今後
 引續キ存續スルモノトセハ國通、電通間ノ關係ヲ如何ニスヘキヤ
 等ニ付テハ追テ弘報委員會ノ指示ヲ俟テ決定スルコト
 ノ三點ニ付意見纏マリタル趣ナリ就テ新通信社設立計畫構成ノ概略
 同社ニ對スル電通ノ態度其ノ他對滿洲國關係ニ於テ參考トナルヘキ
 點御回報煩度シ（了）

外務省

寫送先

大臣 次官
東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文部 調查 人事 文書 會計 祕書官

電信課長

昭和11 一五九二

1.29 暗

巴里 廿七日後發
本省 一月廿八日前着

情

廣田外務大臣

第三九號

三谷代理大使

「アパス」同盟聯絡費一月乃至三月分御電送ヲ請フ

外務省

本邦通信社保存資料
同盟通信社保存

寫
附言
A3.6.0.2
外國通信社關係
雜件

機密公第四一號

昭和十一年二月五日

在「ソヴェエト」聯邦
特命全權大使 大田 爲 吉

外務大臣 廣田 弘毅 殿

「ソ」聯邦關係情報電報ニ關スル件

當國新聞ハ一般他國ノ夫レト著シク性質ヲ異ニシ政府ノ公報タルノ性質ヲ多分ニ有スルニモ鑑ミ其ノ報道中重要ナルモノ就中對日滿關係事項ハ煩ヲ厭ハス其ノ都度電報致シ居ル次第ナル處御承知ノ通「タス」通信社ハ國內重要事項及對日滿關係事項等ハ殆ント洩レナク英文ヲ以テ打電致シ居リ而モ同電報ハ通常新聞發行以前ニ發電セラシルカ故ニ午前十時前後ニ配達セラシル新聞記事ヲ翻譯ノ上發電スル當館報告ヨリモ常ニ半日以上先ンシ居リ且内容モ大體當館ノモノヨリモ寧ロ一層詳細ナル場合多キ實狀ナリ

外務省

分類



外務、陸軍、海軍三省申合せ

(一ノ三ノ五)

世界ノ趨勢ニ鑑ミ自主獨立ノ強力ナル通信社設立ノ必要ヲ認メ之カ
 實現ノ方法トシテ聯合及電通兩社ヲ解消シ新ニ「ナシヨナル・ニユ
 ース・エーゼンシー」トシテ大通信社設立ノ計畫進捗シ遂ニ本年一
 月一日同盟通信社ノ設立ヲ見ルニ到リ前記聯合社ハ之ト同時ニ自ラ
 解散シテ同盟通信社ニ合流シタルカ電通社ハ今尙合流スルニ到ラス
 就テハ政府トシテハ新設同盟通信社ニ對シテ其ノ國策的見地ヨリ積
 極的援助ヲ與フルト共ニ電通社ニ對シ其ノ合流ヲ極力勸説シ同社カ
 飽ク適合流ヲ肯セサルニ於テハ今後何等ノ特典其ノ他ノ援助ニ應セ
 サルコトト致度シ

10. 10.

外務省

而シテ東京ニ接到シタル「タス」通信ハ全部直ニ同盟通信社ヨリ御
 入手可能ナルヘキ次第モアリ勞々努力ト通信料節約ノ趣旨ニモ鑑ミ
 當地同盟通信特派員トモ密接ナル聯絡ヲ取り「タス」通信ヲ以テ本
 邦ニ打電セラレタル右種情報電報ハ特別ノ「リマーク」等ヲ必要ト
 セサル限り當館ヨリ重ネテ打電セサルコトトシ「タス」電報中在滿
 大使其ノ他へ通報スルノ要アルモノハ本省ニ於テ可然御處理相成様
 致度キ意向ナル處右ニ關シ何分ノ儀御回示相成度此段申進ス

は(下)

13. 1

外務省

電信課長

大臣
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文報 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和11 二二二〇 略 2. 12

本 省 二月七日前着

情

廣田外務大臣

第五號

貴電合第五七號ニ關シ

夕刊「スター・ブルチン」紙ニ東洋方面「ニュース」欄ヲ特設シ同
盟放送ト掲記載録ヲ開始セル處從來國際的「ニュース・パリュエ」
少キ純然タル國內「ニュース」ハ重寶カラレス折角掲載ヲ始ムルモ
費用丈ケノ價值ナシトテ中止セルモノモアルニ付露骨ニ宣傳ト見ラ
レサル範圍内ニテ成ルヘク權威アル日、滿、露、支情勢殊ニ日支關
係以外ノ友邦ノ對外關係重要「ニュース」ヲモ巧ニ載録シ國際的見

外務省

地ヨリ「ニュース・パリュエ」維持ニ努力方御指導ヲ希望ス(了)

外務省

本邦通信社
同盟通信社

關係各省申合せ（案）

世界ノ趨勢ニ鑑ミ自主獨立ノ強力ナル通信社設立ノ必要ヲ認メ之ヲ實現ノ方法トシテ聯合及電通兩社ヲ解消シ新ニ「ナシヨナル・ニコリス・エーゼンシー」トシテ大通信社設立ノ計畫進捗シ遂ニ本年一月一日同盟通信社ノ設立ヲ見ルニ到リ前記聯合社ハ之ト同時ニ自ラ解散シテ同盟通信社ニ合流シタルカ電通社ハ今尙合流スルニ到ラス斯クノ如キ現狀ヲ以テ推移スレハ依然ニ通信社ノ對立競争ノ緩和ヲ見ルコトナク本計畫ハ遂ニ實現シ得サルニ到ルヘシ。

就テハ關係各省ハ今後同盟及電通兩社會ヲ斡旋シテ合理的條件ヲ以テ速ニ電通ノ合流ヲ促進スル如ク盡力ス

10. 10.

外務省

電信課長

大臣
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 祕書官

寫送先

昭和11 二九一七 略

テヘラン 本 省 二月十九日夜着

情

廣田外務大臣

岡本公使

第四號

暹羅宛電第一二號ニ關シ（同盟ノ英文「ニュース」放送開始ニ關スル件）

本日迄ノ受信成績ニ依レハ午後九時半放送ノ分ハ稍明瞭ニ受信出來ルモ午後三時ノ分ハ全然受信不能ナル趣ナリ午後三時放送ノ分モ受信可能トナル様何トカ工夫ヲ望ム（了）

在外本邦通信社并付社
同盟通信社

2. 21

外務省

寫送先

大臣 次官

電信課長
東亞 歐洲 米洲 通商 條約 情報 文部 調查 人事 會計 秘書官

電信課長

昭和11 七八八六 暗
有田外務大臣
第二二一號

巴里 四月卅日後發
本省 五月一日前着

佐藤大使

情、會

「アパス」同盟聯絡費四月乃至六月分電送請フ(了)

本邦通商社
同盟通商社
通信社
事務雜件

外務省

大臣 次官

電信課長
東亞 歐洲 米洲 通商 條約 情報 文部 調查 人事 會計 秘書官

電信課長

昭和中 八七四〇
有田外務大臣
第六八號

リオ 十三日後發
本省 五月十四日前着

澤田大使

情

「ホノルル」宛貴電合第五七號ニ關シ(同盟ノ英文「ニュース」放
送ノ件)

當地「アゼンシア、メリデオナル」ヨリ本件放送受信ノ上關係新聞
ニ供給シ度キ趣ヲ以テ當館ノ承認ヲ要請シ來レルニ付右ヲ承認スル
旨口頭ヲ以テ申置キタル處伯刺西爾當局ノ許可ヲ受クル關係上文書
ニ依ル承認ヲ必要トスル趣ナルニ付テハ右採取計ヒ差支ナキヤ至急
御回電請フ(了)

外務省

寫送先

電信課長

大臣
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和11 一四八九〇 略 ケーブタウン 八月五日 四日後發着 情

有田外務大臣

第八〇號

同盟放送ノ變更ニ依リ午後五時ノ分ハ當地ニテハ聽取困難ナルニ付 舊周波ニ依ルカJAPトスルカ兎ニ角變更ノ必要ヲ認ムルニ付然ルヘク御配慮相煩度シ

外務省

電信課長

大臣
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和11 一五一二二 暗

リオ 七日後發着 本省 八月八日後着

有田外務大臣

第一六三號

澤田大使

從來聯合通信ハA、Pト、電通ハU、Pト特約アリタル旨承知シ居ル處同盟設立後右兩社トノ關係如何相成リタルヤ當方ニテ是等通信社ト接觸ノ都合モアリ特ニ貴電合第五三五號當地同盟通信員設置實現ノ場合其ノ取扱振ニ關聯シテモ右承知シ置度シ 尙「アパス」社ト同盟トノ關係モ併セ御回電ヲ請フ 聖市へ暗送セリ

外務省

本邦通信社停業事件 同盟通信社停業事件

電信課長

大臣 次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 會計 秘書官

寫送先

昭和11 二〇三九〇 暗 上海 十五日發 本省 十月十五日夜着

有田外務大臣

第八六三號

本官發漢口宛電報

第二三號

大臣宛貴電第三五九號ニ關シ

岡本ノ後任ニハ八日當地同盟ノ坂田寛三任命セラレ二十日當地發赴

任ノ豫定ナルニ付充分御利用アリ度ク尙貴地同盟ノ陣容充實ニ付テ

ハ上海支局ヨリ既ニ意見ヲ本社ニ具申セリ

大臣、南京へ轉電セリ

1016 本邦通信社 桑原社件 同盟通信社 桑原社件

外務省

電信課長

大臣 次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 會計 秘書官

寫送先

昭和11 二一五五六 暗 羅府 三十日後發 本省 十月卅一日前着

有田外務大臣

第三四號

桑港宛貴電合第八九八號ニ關シ(放送「ニュース」成績ノ件)

羅府新報及加州毎日ノ二紙ニ於テ何レモ東京時間午後四時、六時、

七時、八時、九時放送ノ五回ヲ受信シ居レリ尙羅新ハ東京時間午前

十一時二十分、午後零時、一時二十分等ノ受信ニ努メ居ルモ概ネ不

成功ニ終リ居ル趣ナリ

桑港へ暗送セリ

本邦通信社 桑原社件 同盟通信社 桑原社件

外務省

寫送先

大臣 次官 電信課長
東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 秘書官

昭和11 二一五五三 暗 本 省 十月卅一日前着 情

有田外務大臣 鶴見領事

第一〇號

貴電合第八九八號ニ關シ

當地央州日報ハ東京時間午後六時、七時ノ二回ヲ聽取利用シ居レリ

(了)

外務省

大臣 次官

寫送先

電信課長
東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 秘書官

昭和11 二一六三〇 暗 本 省 十一月一日前着 情

有田外務大臣 岡本領事

第二八號

貴電合第八九八號ニ關シ

管内利用者ハ當地北米自治及大北日報ノ兩邦字新聞ナリ前者ハ午前
十時ヨリ午後九時迄後者ハ午前十時、午後四時及午後六時、
同十時(何レモ東京時間)ノ各放送ヲ傍受シ居ル由(了)

外務省

電信課長
大臣
次官
東亞
歐亞
米洲
通商
條約
情報
文化
調査
人事
文書
會計
會社
秘書官

昭和11 二一六二三 暗
本省 十一月廿一日前發
寺嶋代理公使
有田外務大臣
第一五五號
貴電合第八九八號ニ關シ
當館ヨリ「トランス、ラデオ」社ニ依頼シ午後四時、六時、七時、
八時ノ四回ヲ受信セシメ希望者ニ配布シ邦字新聞ニモ利用セシメ居
リ詳細郵報スヘキモ永岩事務官ヨリ御聽取相成度シ（了）

外務省

電信課長
大臣
次官
東亞
歐亞
米洲
通商
條約
情報
文化
調査
人事
文書
會計
會社
秘書官

昭和11 二一五七〇 暗
新嘉坡 十月卅一日後發
有田外務大臣
第八二號
郡司總領事
貴電合第八九八號ニ關シ（本邦ヨリノ放送「ニュース」受信成績調
査方ノ件）
當地新嘉坡日報及南洋日日ノ兩社ハ本邦ヨリノ無電「ニュース」ヲ
聽取シ之ヲ東京來電トシテ各紙面ニ掲載シ居タリシカ本年二月兩社
トモ無電聽取B「ライセンス」ナシトノ廉ニテ當局ヨリ嚴重ナル注
意ヲ受ケタル爲現在ハ日報ハ前記貴電明示ノ各放送ヲ殆ント毎回受
信シ又日日ハ午後四時八時及九時ノ分ノミ受信シ何レモ其ノ出所ヲ

外務省

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 秘書官

電信課長

大臣 次官

413.6.025

明カニセス各紙面ニ掲載シ居ル現状ナリ(了)

外務省

昭和11 二一六八五 暗

本 省 十一月二日夜着

情

有田外務大臣

石澤總領事

第二四三號

貴電合第八九八號ニ關シ

瓜哇日報及日蘭商業ニ於テ全部受信利用シ居レリ

外務省

電信課長

大臣 次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文部 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和11 二一七三八 暗 晚香坡 二日後發 本省 十一月三日 前着 情

有田外務大臣 根道領事

第三七號

貴電合第八九八號ニ關シ

管内三邦字新聞ノ受信利用程度左ノ如シ

大陸日報 十回 (午前九時乃至午後九時)

加奈陀新聞八回 (午前九時乃至午後七時)

民衆 一回 (午後四時)

外務省

電信課長

大臣 次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文部 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和11 二一七四〇 暗 本 省 十一月三日 前着 二日後發 情

有田外務大臣 福間總領事

第四二號

貴電合第八九八號ニ關シ (本邦ヨリノ放送「ニュース」受信成績調

査方ノ件)

「ホノルル」市ノ二邦字紙中日。布時事ハ毎日十一回、布哇報知ハ午

前八時、九時ノ二回ヲ除キ毎日九回受信利用シ居レリ布哇島「ヒロ

市發行ノ布哇毎日及火山ノ兩紙モ毎日四、五回受信利用シ居ル趣ナ

リ (了)

外務省

電信課長

大臣 次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和11 二一七四三 暗 桑港 二日後發 本省 十一月三日 前着 情

有田外務大臣 鹽崎總領事

第七五號

貴電合第八九八號ニ關シ

當館管内邦字新聞「日米」「新世界朝日」「櫻府日報」ハ午後一時
二十分、四時、六時、七時、八時、九時ノ本件「ニュース」ヲ利用
居ル處右ハ當地電通支局主任タリシ竹内吉之助ニ於テ受信シ前記
新聞社ニ供給シ居ルモノナリ尙同人ノ言フ所ニ依レハ東京時間午前
中及零時ノ放送「ニュース」ハ受信困難ナル趣ナリ
紐育、「ホノルル」、「ポートルランド」、「シヤトル」、羅府へ暗
送セリ

外務省

本邦通信社ニ非條約
同盟通信社ニ非條約

電信課長

大臣 次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和11 二二一一八 暗 聖市 七日後發 本省 十一月八日 前着 情

有田外務大臣 市毛總領事

第一七一號

貴大臣發桑港宛電報合第八九八號ニ關シ

當管内ニ於テハ受信稅其ノ他法規ノ關係上單獨ニテ受信シ居ル者ナ
ク目下「リオ」大使館側ト聯絡ヲ取り經費分擔ノ下ニ同地「アゼン
テラ」ブラジレイラ」カ毎日受信シツツアル「ニュース」ノ配付ヲ
受ケ當地新聞ハ之ヲ發表シ居レリ右受信ノ程度其ノ他ニ付テハ在伯
大使へ取調ノ上直接回電方依頼セリ
貴電ト共ニ在伯大使へ轉電セリ

外務省

電信課長

大臣
次官

東亞
歐亞
米洲
通商
條約
情報
文化
調查
人事
文書
會計
會社
秘書
官

寫送先

昭和11 二二二〇五 暗

リオ 九日後發
本省 十一月十日前着

澤田大使

第二〇四號

貴電合第八九八號ニ關シ

同盟通信社日本文「ニュース」ハ去ル九月一日ヨリ當地「ラデオ」
レグラフヒカ・ブラジレイラ」(聖市總領事發貴大臣宛電報第一
七一號中「アジヤンシア・ブラジレイラ」トアルハ誤)ヲシテ毎日
受信セシメ居ル處時間、大氣等ノ技術上ノ關係ニテ右放送ハ當地時
間午前四時、六時、七時ノ三回ノミ聽取シ得ルニ過キス而シテ毎回
確實ニ受信シ得ルハ午前四時ノ一回ノミナリ

外務省

本「ニュース」ハ聖州邦字新聞ノ外主要在留邦人中希望者ニ配付シ
居レリ委細公信
聖市へ轉電セリ

外務省

寫送先

大臣 次官

電信課長

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 秘書官

福田

昭和11 二二四四二 暗

馬尼刺 本省 十一月十三日後着

情

有田外務大臣

内山總領事

第三五九號

貴電合第八九八號ニ關シ(本邦ヨリノ放送「ニュース」受信成績調査方ノ件)

當地商工新報ニ於テ毎日十一回受信其ノ七割程度ヲ同新聞ニ利用シ居レリ

(了)

外務省

本邦之通信社并傳報社
同體通信社并傳報社

大臣 次官

電信課長

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 文書 會計 秘書官

林

加藤

昭和12 三一六一 暗

北平 本省 二月廿一日後着

情

林外務大臣

加藤書記官

第七六號

客年十二月二十八日附支發貴大臣宛機密第三七二號公信ニ關シ

當地同盟横田先般歸國ノ際情報部ニ對シ種々報告シタル趣ニテ今般

同人ヨリ上海トモ打合ノ上三月一日ヨリ左記要旨ニ依リ北平支局英

文部強化ヲ實行シ度キ旨申出テ來レル處一月二十八日附貴大臣宛機

密第五六號拙信ヲ以テ稟請ノ次第モアリ又本官上海ニ出張ノ際大使

館トモ協議シタルカ英文部強化ハ諸種ノ情勢ヨリ緊急ノ必要アリト

認メラルルニ付是非共之カ實現方至急御詮議仰度ク何分ノ儀折返シ

外務省

寫送先

外務省

御回電ヲ請フ

一、當地ニ於テ東京及上海ノ同盟英文放送ヲ受信シ目下上海ヨリ轉送スル各地「ニュース」及「ローカル、ニュース」ヲ添加シテ毎日十五乃至三十頁ノ英文通信ヲ發行ス

ニ右ニハ印刷機購入、受信設備費等臨時費五〇〇弗及囑託、「オペレーター」、「タイピスト」、諸雜費等ニ月額六〇〇弗ノ經費ヲ要スル處臨時費全額及毎月三〇〇弗夫々補助ヲ受クルヲ要ス

支、上海大使、天津へ轉電セリ

極秘

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和12 三二六四 暗 天津 廿三日後發
 本省 二月廿三日夜着

林外務大臣 堀内總領事

第六九號（極秘）

北平發閣下宛電報第七六號ニ關シ（北平支局英文部強化方ノ件）
 天津ニ於ケル強化案ニ付テハ十九日附機密第二〇〇號往信ヲ以テ詳細稟申濟ナルニ付爲念
 支、上海大使、北平へ轉電セリ

本邦通信社ノ件
 同盟通信社ノ件

外務省